［認知症対応型共同生活介護用］

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月 1日

【評価実施概要】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 4270300512 | | |
| 法人名 | 有限会社　清福祉事業 | | |
| 事業所名 | グループハウス　およりの郷 | | |
| 所在地 | 長崎県島原市秩父が浦町丁3543番地13<br>(電　話) 0957－64－1150 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人　ローカルネット日本福祉医療評価支援機構 | | |
| 所在地 | 長崎県島原市高島二丁目7217　島原商工会議所1階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年9月1日 | 評価確定日 | 平成19年9月10日 |

【情報提供票より】(H19年　8月17　日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開設年月日 | 昭和・(平成)　16　年　9　月　1　日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18　人 |
| 職員数 | 14　人 | 常勤　4　人, 非常勤　10人, 常勤換算4.3　人 | |

(2) 建物概要

| | |
|---|---|
| 建物構造 | 木造造り<br>平屋建ての　1階　～　1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 家賃(平均月額) | 15,000　円 | | その他の経費(月額) | 円 |
| 敷　金 | 有(　円)　(無) | | | |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有(　円)<br>(無) | | 有りの場合<br>償却の有無 | 有／無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり　1,000　円 | | | |

(4) 利用者の概要(　8月17　日現在)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 0 名 | 女性 | 18 名 |
| 要介護1 | 5　名 | 要介護2 | 6　名 | | |
| 要介護3 | 6　名 | 要介護4 | 0　名 | | |
| 要介護5 | 1　名 | 要支援2 | 0　名 | | |
| 年齢 | 平均　85.5 歳 | 最低 | 68 歳 | 最高 | 97 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---|---|
| 協力医療機関名 | 林内科医院・稲田整形外科・柴田長庚堂病院・島原養保院・まき歯科・たかお循環器内科・宮崎病院・松下皮膚科・かわはら内科胃腸科 |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅地に囲まれた当ホームは、広い庭を有し、平屋建てのゆったりした雰囲気のハウスで、、地域の人が入居者を見守っている状態が確立しており、正に地域密着型と言える。運営者はグループハウスを熱い思いで開設され、ケア研究会の会長としても活躍されており、日頃より多種多様な訪問者が訪れる。職員の自主性を重んじることで、今年度のスタッフ目標は「勉強会・研修会にできるだけ参加し、スキルアップに努める」と決め、前向きである。入居者もそれぞれ個性的であり、居室作りを取ってみても生活を楽しまれている様子が窺える。また、理念である“のんびり・ゆったり・のどか”が笑顔で実践されている。

【重点項目への取り組み状況】

**重点項目①**

**前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)**

評価の重要性や活用方法を理解されており、前回の評価を真摯に受け止められ、改善計画シートを作成され、時計や暦の設置・口腔ケア・便りの作成等、計画的に取り組まれている。今回の調査日もメモを取られ、職員の心意気を感じることができた。

**今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)**

項目変更により、時間がなく短時間の自己評価となり、一部の職員に口頭で聞く事はあったが、全員で自己評価を取り組むことができず、今後は、早い段階から計画的に全員で取り組まれることを期待したい。

**運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)**

運営推進会議は2ヶ月に1回、地域包括支援センター長・民生委員・家族の代表・運営者・管理者・職員が参加し、日々の活動内容・入居者の状態・事故報告・その他(食中毒の予防・夏祭り・草取り・便り)等に関し報告と話し合いを開催し、様々な積極的な意見交換が行われ、運営に反映されている。

**重点項目③**

**家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)**

広報「およリ」を2ヶ月に1回発行し、家族へホームでの生活を知らせている。入居時に運営者より何でも言って下さいと伝えている事から、時々話される事があるが、殆んど希望・意見を言われることはない。今後の取り組みとして、気軽に話していただく事や、傾聴の体制があることをアピールする為にも、玄関や広報紙への明示及び家族アンケートを取る等行なう事に期待したい。

**重点項目④**

**日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)**

ホームの庭を出ると住宅地であり、庭木や草取り、入居者の単独での外出時、外灯が切れた時、火災・避難訓練への参加等密接であり、良好な関係が確立している。又、ボランティアの受け入れ・学生の研修・体験学習・スポーツ大会時の休憩場所等にホームを開放し、地域への還元にも前向きに取り組まれている。

# 2.　評価結果(詳細)

(　　部分は重点項目です　)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | (〇印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ.理念に基づく運営** | | | | | |
| 1.理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「老いても、障害を持っても、自分らしく暮らせるように」を基本理念とし、事業所を地域の人々が支える事で、入居者は制約のないのびのびとした、その人らい生活をされている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念は職員により「のんびり、ゆったり、のどか」を合言葉として共有し、入居者に接する時は、優しい気持ちと明るさに重点を置き、日々の介護に取り組まれている。 | | |
| 2.地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | ホームの建設後、住宅地となり、近隣の方から、庭の手入れや外灯切れ、入居者の外出(花を貰うことがある)等協力的であり、馴染みの良好な関係が確立されている。又、ボランティアの受け入れ・体験学習・学生のスポーツ大会時の休憩場所等地域への還元を積極的にされている。 | | |
| 3.理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 外部評価を理解して頂き、協力的に対応して頂いた。また、評価後は改善計画シートを作成し、積極的に取り組まれている。評価項目変更に伴い、自己評価は一部を聞く事はあったが、全員で取り組む時間が無く、評価が不十分である。 | ○ | 自己評価を職員が全員で取り組むことで、事業所が抱える良い点や問題点を抽出し、質の向上に繋げる意味で、計画的に早期より取り組まれ、全項目を全員で評価されることを期待したい。 |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回、地域包括支援センター長・民生委員・家族の代表・運営者・職員が参加し、活動内容・スタッフの研修・入居者の状態・事故報告・次回の開催日等を報告や話合いをし、積極的な意見交換がされており、サービスの向上に繋がっている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携<br><br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 代表者がケア研究会の会長であり、市町村とは連携を図り、馴染みの関係である。情報を提供したり、相談を受けたり、協働的に取り組まれている。 | | |
| 4．理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 広報「およ り」を2ヶ月ごとに発行し配布している。病院の受診結果は必要に応じ電話で報告をしている。遠方の家族には郵送している。金銭出納は利用料と一緒にコピーして送付し、持参される家族には口頭で状況を伝えている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 入居時に何かある時は話してくださいと伝える事で、代表には時々希望を言われる場合がある。全体的に意見や要望は少なく、苦情処理体制の掲示もある。しかし、気軽に相談・苦情を受付ける掲示は無く、アンケートを取られたこともない。 | ○ | 預けてるがゆえに言えない事を考慮し、何時でも気軽に相談・苦情を受ける体制がある事や、職員に直接話される為の取り組みを期待したい。又、家族アンケートをされる事が望まれる。 |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 法人内の異動があり、入居者に前もって話をしたり、配慮が窺えるが、訪問者が多いホームであることから、入居者は自然に受け入れている様子であるが、新任職員の紹介はされていない。 | ○ | 入居者のダメージや家族と馴染みの関係を考慮して、新人職員の紹介（便りに紹介や玄関に掲示板を設けお知らせする等）を工夫されることを望まれる。 |
| 5．人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 今年度の目標を「職員は勉強会や研修会に可能な限り出席し、スキルアップに努める」とし、新人教育や内部・外部研修参加や資格取得に、積極的に取り組まれている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 運営者は島原半島ケア研究会の会長であり、管理者や職員は他の施設とは日頃から行き来され、同業者とのネットワークは充分取れている。9月に予定されている秋祭りは地域の人々と同業者が参加予定である。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容･実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 法人のディサービスや病院（入院中に職員が訪問しお話をする）の退院後や見学（家族と本人が一緒に）や、自宅訪問を実施し、納得をされて入居される為の取り組みをされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 人生の先輩である事を念頭に置き、年長者の話を傾聴し、畑の作物や調理に関しては、教えてもらう事が多く、職員が一方的にではなく、互いに助け合って生活されている。 | | |
| **Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 介護サマリーや利用者プロフィールの他に、本人や家族から聞いた事を細かく別紙に記録し、生活歴を職員間で共有する為の取り組みをされ、入居者の意向に沿った介護を実施されている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 生活プランとして計画は作成されている。入居者と家族の希望は聞かれており、現在援助内容を細かく、ニーズに沿った実際のケアを織り込んだ、新しいシートに変更中であり完成段階ではない。又、作成された計画は家族の同意欄が空白である。 | ○ | 本人と家族の主訴を把握した介護計画を作成され、家族や本人に見せ同意（日付･記名･捺印）を得られる事が望まれる。又、現在取り組まれている書式が活用される事に期待したい。 |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 見直し期間を設定し、ケアカンファレンスを月2回と3ヶ月ごとにモニタリングを実施され、問題点の抽出をされている。しかし、次の計画に反映されるまで至らず、現状に即した新たな計画とは言えない。 | ○ | ケアカンファレンスでは個別に問題点を把握さており、モニタリングのデーターを加味して、継続する部分と変更部分を明確にされ、次の計画に反映される事が望まれる。 |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| 3．多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 通院介助・法人内のディサービスの機械を借りホームで使用・家族の宿泊等、入居者や家族の状況やニーズに沿って法人が持つ機能を提供している。 | | |
| 4．本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居者の掛かりつけ医は勿論であるが、提携医療機関を多く持ち、職員に看護師を配置する事で、適切な受診支援がされている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 現在までに看取りの実施はないが、入居時に看取りに関する介助の指針を書面化し、説明し同意を得ている。医師とは密接な関係であり、協力体制も確立されている。 | | |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**<br>1．その人らしい暮らしの支援<br>(1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | プライバシーに関しては重要視されており、広報紙の発行やテレビ、新聞等の報道関係の取材に対しての同意書を受理されている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者のペースを尊重し、自分らしい居室・行きつけの美容室・朝食の時間等は希望を聞きながら、常に主人公が誰であるかを念頭に置き、押し付ける事のないケアをされている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理や後片付けができる入居者と一緒にされ、庭の畑の作物が食卓に載ることがある。職員は食事介助をしながら同じ物を一緒(入居者の状態で不可能な場合がある)に楽しまれている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 職員の勤務ローテーションにややゆとりを持ち、組まれていることから、毎日入浴が可能であり、希望者は夕方に入浴されて楽しまれている。拒否者は清拭や洗浄で清潔保持に努められている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 畑仕事・食器洗い・洗濯物干しとたたみ・モップ掛け・玄関の掃除・草取り、ドライブ・塗り絵等で役割や楽しみを積極的にすることで、入居者は晴れ晴れとした表情で過ごされている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 買い物・ドライブ・足湯・墓参り・花見・他ホームの訪問・公園・自宅へ外泊等入居者の希望に沿って外出されることを支援している。玄関の外のベンチやウッドデッキで日光浴をしたり、日常生活の中に取り組まれている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 入居者は気軽に玄関から出入りされており、玄関の正面の事務所で職員が見守りを行っている。庭から出ると住宅地であり、地域の人が声掛けをして見守りや連絡をされる事で、鍵をかけないケアに取り組まれている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署の立会いで年1回火災・避難訓練を地域の人を交えて実施し、自主訓練は夜間と日中に分け実施されている。しかし、これまで地震を想定しての訓練の実施はなく、備蓄に関してはまだ取り組まれていない。 | ○ | 火災・避難のみでなく、起こりうる可能性がある災害(地震・水害・土石流・破裂・爆発・不審者等)を想定した訓練やマニュアルを作成され、災害時に不足する事を考慮して、食料・飲料水等の備蓄をされる事に期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容･実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|---|---|---|---|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養摂取量は以前チェックを受けたメニューを参考にし、咀嚼を配慮して切り方を変え調理し、摂取量を記録されている。月1回の体重測定を過不足の参考にされている。水分摂取量は必要な人のみ記録されている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>(1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 評価日が開設3周年日であり、3年間を回想できる様々な催しが掲示されていた。季節や慣わしの掲示、使用されていテーブルや椅子の調度品は一般的なものである。騒音は感じられず、明るさは照明で補足され、清潔で居心地の良い空間が提供されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は馴染みの品（家具･仏壇･テーブル･ベット･椅子･小物等）を持ち込まれ、入居前の生活が窺えるような個性的な部屋作りができており、我が家として機能していることを感じられる。 | | |